

武將名家茶道
 及諸家花相
 画家相承系譜
 土佐家并門流
 狩野家并門流
 逸人名山
 以上





湖月堂老翁輯

茶家
醉古
集

第貳輯

京師弘文堂藏

增補茶花押譜

雲英

一 奮版茶人花押數前後集廿二
行ハル共ニ遺脱少ナカラス且卷
懷ニ便ナラス今花押拾遺群
賢押譜其餘収藏ノ家ニ索
メ監賞家ニ訪子テ改正増
補シテ袖玉ニ便ナラシム
一 此書ヲ改正増補スルハ氏古今
ノ廣キ盡スヘカラズ猶十三二
ヲ闕ケリ故ニ日ニ集メ月ニ録
シテ益校正セントス幾度クハ
監賞ノ君子コレヲ質サン
ヲ弘文學主人謹記ス
天保十四癸卯初春吉旦

茶花押譜同次



目次

一	源義政公 竟然親王 慈胤親王 道晃親王 近衛信尋公	二	近衛家熙公 鳥光廣公 風早實種卿 勸修寺高顯卿 日野輝資卿	三	坊城俊將卿 織田信長 豐臣秀吉	四	織田信雄 織田賴長 荒木村重	五	織田長益 明智光秀 三好之虎 佐久間勝之 松永久秀	六	前田玄以 織田貞置 三好康長 桑山重長 佐久間宗透 佐久間真勝	七	細川藤孝 細川忠興 清生氏卿 桑山重晴	八	淺野長重 木下長晴子 金森長近 同重近 大久保忠隣	九	伊達正宗 吉田重勝 有馬豐氏 大野治長	十	小政尹 永井尚政 片桐貞昌 明惠上人	十一	小堀政貴 佐川田喜六 榮西禪師 紹鷗	十二	北向道陳 武野宗茂 利休
---	---------------------------------------	---	---	---	-----------------------	---	----------------------	---	---------------------------------------	---	--	---	------------------------------	---	---------------------------------------	---	------------------------------	---	-----------------------------	----	-----------------------------	----	--------------------

三十	船越吉勝 小堀政貴 佐川田喜六 榮西禪師 紹鷗	四十	一休和尚 珠光	五十	高山南坊 曾呂利 里村紹巴 因果居士 釋功寂	六十	真相阿弥 今井宗久 津田宗及	六十	宗祇 富田知信 施藥院 千道安	七十	長谷川宗仁 古市澄胤 瀨田正忠 柏屋宗玄	八十	清巖 江雪 寧一山	九十	宗珠 信海 信主堂 長盛 通圓 石川文山	一	省柏 津田宗達 澤菴 江月	二	松花堂 元政 策傳 一絲	三	岡本半助
----	-------------------------------------	----	------------	----	------------------------------------	----	----------------------	----	--------------------------	----	-------------------------------	----	-----------------	----	-------------------------------------	---	------------------------	---	-----------------------	---	------

三	五十三	三十三	一十三	九	七	五	六
佐野紹益	千宗守 真伯	山中道億	尾形真省	土肥二三	千宗乾	久田宗全	尾形光琳
千宗安	有馬了休	久須見疎安	無學	山田宗偏	黑田正圓	藤村庸軒	同宗守 似休翁
同宗佐 江吟	千宗拙	本阿弥光悦	今小路道三	伊丹屋宗不	山上宗二	萬代屋宗安	淀屋言當
千宗厚	藏内紹智	本阿弥光甫	狩野守信	三宅喜齋	千宗且	大森漸齋	大森杖信
同 有斐	杉本普齋	千宗佐 隨齋	千宗巴	千宗室 仙叟	尾形深省	上田康長	藤村正員
千宗佐 芳流	原叟宗佐	如心齋	千宗佐	千宗室 勿軒	町田圓齋	舟木又甫	市川心齋

七十	九十三	一十四	三十四	五十四
古筆了雪	同 了祐	町田秋波	千宗中齋	同好之齋
同宗佐 知齋	齋藤道節	山田宗引	觀山	吉見喜齋
鈴木宗閑	三谷宗鎮	天室宗碩	春屋宗園	古溪宗陳
玉室宗珀	久田宗也	久田宗溪	久田宗參	有岡道瑞
上柳甫齋	大江如翁	堀内宗心	堀内宗心	堀内宗心
八	四	十	二十四	四十四
隱岐宗	藏内紹智	同 比考齋	千宗守 文叔	千宗室 常更
林義牧	青木宗鳳	二世宗鳳	堅田祐益	山本退菴
服部道圓	藤村直良	清水動閑	同 道竿	山科宗甫
天滿屋常通	玉舟宗瑞	天室宗笠	墨岩宗眠	千宗守 武
千宗左	千宗左	住山揚甫	堀内仙鶴	堀内仙鶴

十
三
三

九十四	七十四	八十四
抗茶記	松尾宗二 松尾宗五 松尾宗政 多田宗綱 同十及齋 安田	賣茶翁 花押難考記

源義政公

茶法ヲ珠光ニ學ビタマフ前編茶人系譜ニ詳カナレハ墨又

堯然親王

茶

後陽成帝第六皇子ニ品天台座主寛文元閏八月廿三日薨ス壽六十七
慈恩院ト号ス茶法ヲ片桐石別ニ受ク

慈胤法親王

茶

後陽成帝皇子二品天台座主
元祿十二年十二月二日薨
十三常修院上号ス茶法ヲ金
森宗和ニウク

道晃親王

弟

後陽成帝第十二皇子二品園
城寺長吏三山ノ檢校延寶六
年一本七月十八日薨ス壽六
八遍照院上号ス茶事ヲ古田
織部ニウク

近衛信尋公

弟

後陽成帝第四皇子三藐院関
白信尹公ノ子トナル関白左太
臣應山ト号ス慶安二年十月十

一日薨ス壽五十一木源月往院
上号ス茶法ヲ古田織部ニウク

同家源公

上
家
源
公

應圓滿院基源公男攝政関白
太政大臣准三后元文元年十月
三日薨ス壽七十豫樂院上号ス
茶法ヲ慈胤親王ニウク

烏丸光廣卿

弟

権大納言正二位泰翁
法雲院卜号ス寛永中
ニ薨ス歳六十英名世
ニ知ル所ナレハ畧ス

五

風早實種卿

四

妙小路公景卿男權中納言正三位
永七年十二月二十五日薨ス壽七十
九茶事ヲ小堀速洲ニ學ブ

勸修寺高頭卿

三

權中納言尹隆卿男權中納言從二位
位博士ニシテ志操アリ茶事ヲ大
森枝信ニ學ブ元文二年八月十八
日薨ス壽四十三

日野輝資卿

名

權中納言國光卿男實贈内府國
光公男權大納言正二位家藏ノ
茶壺世ニ廣東ト称シテ日野肩衝
日野廣東ト云フ慶長十二年五月九
日出家シテ茶法ヲ利休ニ學ブ

坊城俊将卿

約

權大納言俊清男實六勸修寺尹
隆卿ノ男權大納言正二位寛延二年
正月元日薨ス歳五十一茶法ヲ豫
樂殿下ニ學ブ

織田平信長

五
信長卿

豊臣秀吉

従一位右大臣備後守信秀男ナリ茶礼ヲ好ムスナチ紹鴻ニナグ器物ヲ集ムコノ時古器ノ價大ニ増ス天正十年六月二日京師ノ本能寺ニ於テ明智日向守ガタメニ害セラル紫野大徳寺ニ葬ル總見院殿大相國贈一品泰嚴居士ト謚ス

豊臣秀吉

秀吉

公初ノ氏ハ羽柴後ニ豊臣ト改ム專賤ヨリ起テ関白大政大臣従一位ニ昇進ス慶長三年四月十八日薨ス一本八月十八日勅シテ厩号ヲ豊國大明神ト賜フ按スルニ奮記ニ余礼ハ北条ノ末ニ起ル然リトイヘトモ當時ナライマダ盛ナラズ義政公ニ至ツテ漸ク熾ニシテ而メ豊臣公ニ源漫スルリレヨリ後僧庶トイヘトモコノ礼ヲ嗜ナクザルヲナレ公スナク千宗易ヲシテ茶法ヲ定ムレム是ニ於テ古人ノイニテ備ハザルト口口ヲ損益シテ以テ後世ノモノニ生ラタ是故ニ茶事ヲ云フモノ其ノ餘流ニ歎ガテイフヲナレ或人ノ曰ク茶禮ハ宗易ニ一定スト其模公モマタ與レリ

織田信雄

信雄

織田頼長

茶法ヲ有樂齋ニ受ク前編茶人系譜出タレハ畧ス

織田頼長

長

從四位下侍從左門別名道八祝髮シテ雲生寺入道ト稱ス長益ニ男ナリ篠阿弥陀佛ト号

織田長益

茶法ヲ千宗易ニ受ク前編茶人系譜ニ出タレハ畧ス

明智光秀

從五位下惟任日向守ト稱ス丹州ヲ領ス天正十年六月十三日誅ス

三好之虎

三好之虎

從五位下豐後守剃髮シテ實
休ト名ケリ物外軒ト称ス薩
守元長男也永祿五年三月
日泉州冬米田ニ戰死ス沙界南
宗寺ニ牌子ヲ設ケテ龍音寺
以徹實休居士ト題ス

佐久間勝之

逸

大膳亮從五位下久右衛尉盛次第
四子曾テ佐々成政ノ義子ト為
ル後佐久間氏ニ復ス洛北白川ノ
大石ヲ以テ燈籠一基ヲ造テ南
禪寺ニ建ツ寬永十年十一月
十二日ニ卒ス

松永久秀

有子有

茶事ヲ紹鷗ニ學ブ

從五位下彈正少弼茶事ヲ好
ム家ニ二箇ノ金ヲ藏ス世ニイッ
ユル珠光平蜘蛛ノ金トハ是ナリ
天正五年十月和州志貴城敗
軍ノトキ此金ヲ焰中ニツグ
テ其身モ焚死ス

荒木村重



從五位下攝津守伊丹城ニ居ル
家ニ青磁ノ花瓶アリ世ノ名
器ナリ織田信長コレヲセフ村
重與ヘス信長大ニ怒ルマサニ
戰ニ及ントス既ニ和睦ス後天
正六年ニ謀反ス同ク七年ニ潜
カニ關東ニ逃レ赴ヒテ陸奥ニ匿ル
牌子ヲ沙界南宗寺ニ設ケテ
秋英宗薰居士ト謚ナク

上卷八卷甲首

本ノ新抄譜
六

前田玄以

茶

茶法ヲ紹鷗ニ學ブ
德善院ト号ス又内梅軒宗句
ト称ス初メ三位中将平信忠
公ニ仕ラ後関白秀吉公ニ仕ヘテ
五奉行ノ一人トナル政事ヲ預
リ聞ク

織田貞置
自光

左京亮信貞男從五位下侍從
主計頭一谷某翁ト号ス又
三過老人如鳥子永年堂ト云
茶法ヲ有樂齋ニ學ブ

三好康長

茶

下總守長秀四男山城守從五位
下剃髮シテ笑岩ト号ス紹鷗ニ
學ブ

細川藤孝朝臣

茶

茶事ヲ紹鷗ニ學フ茶人系譜
ニ出タリ

同忠興

茶

參議從三位越中守祝髮シテ三
齋ト称ス正四位藤孝男ナリ正
茶人カ申譜
七

保二年十二月二日卒ス歳八十三
齒骨ヲ紫野高桐院ニ葬ル牌
銘ニ松向寺三彌宗立居士題
ス

蒲生氏卿朝臣

長生

茶事ヲ利休ニ學ブ
參議從四位下飛彈守文祿四
年二月七日ニ卒ス牌子ヲ紫野
昌林院ニ設ケテ昌林院高岩
宗惠居士ト題ス

桑山重晴

重晴

修理亮從五位下崩髮シテ宗榮
治部卿法印ト云フ慶長十一年十

月朔日卒ス法名ヲ果報院春
谷宗榮居士ト云フ茶事ヲ利
休ニ學ブ

桑山重長

重長

從五位下左近洞雲ト號ス祝髮
シテ宗仙ト称ス牌子ヲ紫野洞
雲菴ニ設ケテ洞雲菴宗仙居士
ト題ス

佐久間宗透

不干家

不干家申普

從五位下甚九郎不千齋ト号
ス河内守政實男ナリ父子ト
モニ右大臣信長公ニ仕フ牌子ヲ
紫野松泉菴ニ設ケテ松泉宗
岩居士ト題ス

佐久間真勝

真勝

將監從五位下大膳勝之男ナリ
牌子ヲ紫野寸松菴ニ設ケテ寸
松菴山隱宗可居士ト題ス

淺野長重

長重

從五位下采女正彈正少弼長政

第三男ナリ寛永九年九月三
日卒ス茶事ヲ三齋ニ學ブ

伊達正宗

正宗

權中納言從三位陸奥守實永
十三年五月廿四日卒歳七
十三

古田重勝

重勝

從五位下織部正印齋ト称ス性
茶事ヲ嗜ム而メ善ク古籠ヲ識
鑒ス茶法ヲ宗易ニ受ク乃チ茶
法百個条ヲ録シテ重勝ニ授ク
元和元年六月十日有罪自殺
ス

有馬豊氏

豊

中勢以輔則頼男從五位下治部
大輔寛永十九年卒ス或ハ利休
ノ七哲ノ一人ト云フ

大野治長

五

從五位下修理亮豊臣秀頼公ニ仕
フ茶法ヲ古田重勝ニ學ブ元和元年
五月八日大坂城ニ自殺ス

木下勝俊 長嘯子ト号ス

白

氏

委ク茶人系譜ニ出タレハ畧ス哉翁
舉白堂東公翁等ノ号アリ

金森長近

近

初名五郎八從五位下出雲守法名
玄英茶法ヲ利休及ヒ少菴ニ學ブ

金森重圀

字和重

白

從五位下飛騨守慶長十九年罪父
出雲守可重_ニ得テ京師_ニ蟄居久刺
髮_{シテ}宗和_ト号ス明曆二年卒京
師天寧寺_ニ葬ル今子孫加州太守
ニ仕フト_虫毛摘家_ニ通セテ

大久保忠隣

道

七郎右衛門忠世男相模守從五位下
治部大輔寛永五年六月卒古田
織部_ニ學ブ

小堀政一

小堀政一
政一

政一

政一
政一

大久保忠隣

二

從五位下遠江
守宗甫ト号ス
又孤蓬ト号ス茶禮
ヲ嗜シム風流雅趣一時三冠タリモト
ヨリ識鑿ノ明マリ和漢ノ名品
題コノ公ニ定一ルタトハ驪馬ノ伯樂
ニアフガ如シ蓋シ古田重勝佐久間真
勝小堀政一ノ三家 大猷君ノ師
範トス正保四年二月六日卒ス歳六十九
紫野孤蓬菴ニ葬ル

小堀政俊

五

從五位下大膳正遠江守
政一男ナリ茶法ヲ父政一
ニ受ク

小堀政尹

小堀政尹

遠州次男推十郎蓬菴ト号ス茶法
父遠州ニウク元禄七年八月四日卒

遠州次男推十郎蓬菴ト号ス茶法
父遠州ニウク元禄七年八月四日卒

茶人花押譜

永井尚政
八歳七十深川浄心寺二蓮九陽光
院蓬雪日静居士

永井尚政

從四位下信濃守祝髮シテ信齋ト
号ス右近大夫直勝男ナリ寛文八
年九月十日卒ス歳八十一

片桐貞昌

片桐貞昌

〇〇

從五位下石見守宗関ト号ス主膳正
貞隆男ナリ茶法ヲ利休及ヒ桑山宗
仙小堀遠州ニ學ブ卒去後多賀左
近舟越吉勝片桐貞昌ノ三家茶人
ノ宗匠ト称ス盖シ寛文五年十一
月二十日卒ス紫野高林院ニ牌子ヲ
置クニ寂宗関居士ト題ス

船越吉勝

船越吉勝

從五位下伊豫
守 寛文五年十一月廿九日卒
嚴有君ニ献ス寛文十一年九月卒ス

小堀政重

小堀政重

遠州三郎上左衛門ト称ス茶法ヲ父遠州ニク寛永元年六月廿三日卒ス六十六本有宗非居士

佐川田善六

萬壽

名ハ昌俊點々壺翁卧輪ノ号アリ永井尚政ニ仕ハ寛永六年八月三日ニ卒ス茶ヲ小遠州ニ學ブ和号ヲ善ス

榮西禪師

文

建仁寺ノ関山ニシテ名ハ榮西明辨ト号ス備中ノ人刺史貞政ノ曾孫ナリ仁安三年宋ニ入り久シカラスニテ飯ル又文治三年宋ニ入ル建久二年故朝ノトキ茶ノミヲ持カリ筑紫背振山ニウキコロシ京ニ登リテ明惠上人ニ贈ラシ是本朝茶種傳

來ノ始リ禁上ノ僧正ト云フ後平光國師ト号ス建保三年將軍家実朝公御病惱アリ師御加持ニ伺候ニキ此事ヲ聞シ召レ茶ニ盃ヲ含レ進ラセラル且茶徳ヲ舉タル書一卷ヲソヘテ献セラル將軍家御本快クテ殊ニ御感悦ニシマスト云々此書ハ今傳ワル喫茶養生記コレナリ

明惠上人

釋高井姓平氏紀別在田郡ノ人重家孫重國ノ子ナリ梅尾ニ止リ盛ニ賢首宗ヲ唱フ平光國師葉上僧正宋ヨリ飯朝ノキキ茶ノ種ヲ稱キタリテ上人ニ贈ラシ上人乃チ醫師ニ問シ茶ハ職ヲ覺シ氣ヲ晴ラス

高井

鑑定之印
 佛屋
 三
 三
 三
 三

延享三年（一七六五年）三十九故實
 公基湯六宗匠傳記二出

高山南坊



慶首主左海南宗寺中集雲院名
 宗慶ト云フ

曾呂利

三

杉本甚右衛門ト号メ剃髮シテ坂内宗

裕ト号シ沙界ニ住ス豊太閣ニ奉仕ス

里村紹巴

真

法眼臨江齋半醒子ト号ス利休ニ學ブ

因果居士

月系哲英

山賊北細川村三住人金花山滝下下界ト称ス乃千安主論ノ判者

釋功叔

妙喜庵

妙喜禪菴ト号ス山崎鏡原室寺ノ側ニリ功叔秀吉

海

公三脱逃タリ恩遇モント毛渥シ公當菴ニ渡御ノトキ千宗易ニ命シテ茶房ヲ造ラシメ茶ヲ献ス亭ニカクテニ木ヲ栽テ袖招松ト云フ

真相

真

真相

真相

真

真相

真相

真能カ孫真藝子ナリ鑑古ト号
 松雪齋相阿弥ト称ス立六臣義政
 公ニ仕フ父相相統レテ同朋ナリ
 礼ヲタシム書画ヲヨクシ詩ヲ賦シ和哥
 ヲ詠シ又香ヲ聞クホマレアリ公ノ石
 ニ侍リテツ子ニ宴會ノ席ニ從事シテ
 茶具ノ主役ナリ古器ヲ點檢シ口
 題ヲ一定ス世人ニテツノ識賢ニ服ム
 今井宗久



大藏卿法印ト称又世沙界ニ
 住ス紹鸕ノ婿ナリ関白秀吉公ニ仕
 フ其子宗薰トモニ昵近ナリ

津田宗及



世々沙界ニ住ス更幽齋天信ト号
 ス天王寺屋宗達ノ男江月和尚ノ父
 ナリ関白秀吉ニ仕フ法眼和尚位ニ
 叙セラレ天正九年八月九日卒ス
 一本天正十九年辛卯四月二十日
 アリ



宗珠



珠光ノ男南都ニ住シ印祝齋ト号
 シ又京六条ニ住ス

長谷川宗仁



刑部卿法印信長公ニ仕ヘ又秀吉
 公ニ仕フ茶ヲ紹鸕ニ受ク

大徳元甲譜

古市澄胤



從五位下播磨守興福寺衆徒紹
鴨ニナフ

瀬田正忠



從五位下掃部頭秀吉公三任(利休
二箇字)能茶杓大形ヲ製ス是ヲ掃
部形ト云フ

橋屋宗玄



通称長兵衛茶法ヲ小遠州受ク
以テ親近シテ茶亭ヲアヅカル

宗祇



飯尾氏紀伊久種至菴又自然齋ト
号ス文龜二年七月廿九日寂ス八十一

富田知信



從五位下左近將監豐臣太閤ニ仕
フ利休ニ學フ

施樂院全宗



丹波氏江州ノ人豐臣太閤ニ仕リ利
休ニ受ク

千道安

茶入本抄言

二十

津田宗達

津田宗達 宛

眠翁ト号ス初名ハ紹安後ニ道安ト
改名宗易ノ嫡男ナリ宗易没後
前田利家ノ推挙ヲ以テ道安少子
免許ヲ蒙ル蓋シ父ノ事ニ坐ス
ルナリ天正十五年七月一日卒ス

肖栢

宗達

夢菴ト号シ佐海ニ住シ和哥ヲ好ム
聞ク香志野宗信ニ交會シモトヨリ
茶礼ヲタシナム家ニ漢ノ茶壺ヲ藏
スコレヲ雛鶴ト称ス名世ノ珍器ナリ
大永七年四月八日卒ス年八十五

津田宗達

宗達

沙界ノ人宗及ノ父大通ト号茶ヲ
紹臨ニ受ク

大永七年四月八日卒ス年八十五

釋澤菴

名ハ宗彭自ヲ眞之ト号ス晩年ハタ
東海暮翁ト称ス姓ハ平氏但馬出
石ノ人正保二年十二月老病ヲ示ス十
百衆シキリニ遺偈ヲ請フ師筆ヲ
取テ夢ノ字ヲ書ノ寂ス時七十二

釋江月

名ハ宗玩自ヲ憎袋子ト号ス又梵
神子ト称ス汝界ノ人津田宗久ノ
子ナリ大徳寺ニ住ス寛永二十年十
月一日竜光院ニ寂ス歳七十小遠
洲師ニ參ス

釋清巖

名ハ宗渭自ヲ自笑ニタ孤陋ト号ス
江州人森氏ノ子ナリ寛永二年十一
月十日大徳寺ニ出世ス寛文元年十
一月廿一日獨ヲ書テ寂ス年七十四

釋江雪

名ハ宗雪自ヲ自笑ニタ孤陋ト号ス
江州人森氏ノ子ナリ寛永二年十一
月十日大徳寺ニ出世ス寛文元年十
一月廿一日獨ヲ書テ寂ス年七十四

名、宗立不如無、破鞋子ト号ス寛文六年六月十九日寂ス年七十二謚トテ大綱智海禪師ノ号ヲ賜フ

宋寧一山



台州ノ人胡氏頑極行弥ノ法嗣ナリ元ノ初ニ至テ祖印寺ニ出世シ十年ニシテ補陀寺ニウツリ大徳三年本朝ニタリ九州太宰府ニ寓ス正安元年ナリ正和二年後宇多帝止條貞時ニ教テ南禅寺ニ住侍セシム入山トキ上皇臨幸シレハ道ヲ問タラフ一日疾ニ寝ス上皇使ヲツカワレテ問セラハ臨終ニ至テ遺表ヲ制スレテ恩ヲ謝シ偈ヲ書シ衆ヲ碎シテ寂ス文保元年十月廿五日年七十二城慈弘濟國師ノ号ヲ賜フ

釋胎乘



姓中沼氏石清水ノ社僧ナリ滝本坊ニタ暈々翁ト称ス老後ア多ク天室ヲ造テ顔シテ松花堂トス尤書画ヲ善ス茶道癖アリ寛永十六年九月十六日寂ス歳五十六

釋元政



心之印也

深草瑞光寺開不可思
儀霞谷山人春夢妙子
空子頭星幻生泰堂等ノ數名
リ寛文八年二月十八日寂ス歳四十
六

釋策傳

安未老四

折誓願寺竹林院ノ僧寛永九年正月
八日寂ス茶ヲ金森宗和ニウク或ハ宗
和弟ト云フ歳八十九

釋一絲

山

岩倉木工頭具堯朝臣三男名ハ文
宇桐江下号ス西加茂齋源寺及ヒ
丹波千ヶ畑法常寺等開基正保
三年三月十九日寂ス歳三十九佛頂
國師トヲクリナス

釋信海

一海

八幡豊藏坊孝乘ノ法嗣名ハ孝
雄玉雲子覺花堂等ノ号アリ曾
テ松花堂ニシテカツテ書法及ヒ茶ヲ
マナフ共ニツノ名アリ元禄元年九月
十三日寂ス

信圭座

不遠之序

不遠菴ト号ス嗟哉

龍安寺塔頭大珠

院ニ住ス茶法ヲ宗且ニシク

秋長盛

京師東山真如堂東物坊ノ僧利休
三ノナブ慶安三年四月五日寂ス

通圓

宇治茶匠大敬菴ト号ス

石川

嘉右門信定ノ男名ハ重之ハシメ嘉若

工門ノチ左近ト称ス洛北三条寺村ニ退隱
シ詩仙堂ヲ創ス西明山人遷齋瀬芳
窩歎啓天世鳥鱗山木山坊壽春翁
六々山人頑仙子丈山等ノ數号アリ
寛文十二年五月廿三日没ス歳九十
三

岡本宣就 俗称半介

無名老翁喜巻飯袋子等ノ号アリ
リ彦根侯臣或云ク熊井新八ト云
明暦三年三月土日卒ス歳八十三喜
雲院秀觀居士

淀屋言當

浪華ノ人々菴ト号ス戯ニ画ヲ好ス

茶人花押譜

九十五

又連哥ヲ善ス源光寺祐心ニ從ツテ古今傳ヲウク

萬代屋宗安

一四六

宗安

沙界ノ人利休ヲ女ノ婿ニ咄齋ト号ス

山上宗二

宗二

沙界山上人飄菴ト号ス利休ニ學ブ著ス所ノ茶書一卷アリ

伊丹屋宗不

伊丹屋宗不

傳翁ト号ス遠州ニ學ブ沙界ニ住ス紫野江月澤菴玉舟玉室ヲヨビ小堀政一永井尚政等ニ親炙ス居宅ノ數奇屋政一コレヲ造ル

針屋宗春

宗春

京師ノ人利休同時ニテ茶事名アリ

宗徳

宗徳

沙界ノ人自在軒ト号ス

自在軒

松本珠報

松本珠報

茶人花押譜

九十六

茶人花相譜

永昌坊正樂ト号ス洛四條東洞院
今三松本ノ并アリ

宗悟

宗悟

休之助

休齋ト号ス洛下六条ニ住ス

宗淳

宗淳

少菴ト号ス宗易第二子ナリ慶長
十九年九月七日没ス紫野聚光院ニ
葬ル牌名少菴宗淳居士トイフ

藪内紹智

一五五

劍仲齋又藪隱齋ト号ス
宗易上足ノ弟子ナリ子孫ニテ宗
祖ノ業ヲハツカシメズ子家ハ洛北ニ
居リ藪内ハ洛南ニ家ス時人子家
ヲ上流ト称シ藪内ヲ下流ト称ス

今小路道三

翠竹院

今小路道三

翠竹院一溪翁ト号ス又友松子ト
称ス医術ヲ以テ世ニ鳴ル亦茶事ヲ
コノム

本阿弥光悦

法多々

先吸

トタリ

カヌ

徳天齋ト号ス洛
北雁鳥峰ニ隠ルソノ宅ヲ
大虚菴ト称ス書画ヲ善ク慧眼
ニテ識鑒ニ長セリ心匠巧ニ茶
事モツトモ雅趣ヲ得タリ

本阿弥光甫

美園

空中齋ト号ス光悦男ナリ

狩野守信

翠竹院

弱冠米女ト号ス剃髮シテ探幽齋ト
号ス法印位ニ叙ス丹青ノ妙手世々
ノ知トコロナリ延宝二年十月七日ニ卒
ス歳七十三

三宅喜齋

三下

七
年
奉
旨

七
年
ト
号
ス
惟
高
光
生
門
人
ナ
リ
亦
神
書
ニ
通
ス
哥
道
ニ
好
ム
兼
テ
茶
道
ヲ
善
ク
ス
慶
長
元
年
ニ
卒
ス

千宗三

千
宗
三

千
宗
三
名
元
伯
今
日
菴
出
齋
ト
号
ス
前
編
茶
人
系
譜
ニ
詳
ニ
出
ツ

千宗三

千
宗
三

開
翁
壺
天
下
号
ス
宗
且
ノ
嫡
子
ナ
リ

千宗佐

千宗佐

茶人花抄譜
六十九

五五五

江奈下号ノ前編
茶人系譜ニ出タリ

千宗守

出五五
宗守五

官休菴似休齋ト号ス宗具方季
子ナリ茶人系譜ニ出ツ

藤村庸軒

名齋和

齋子白
和

初、氏ハ久田後ニ藤村ト改ム性幽閑
淡泊ニシテ善ヲ読ム好ム詞章草ヲ
善シ茶礼ヲクシム茶法ヲ千宗且ニ
受ク元禄十二年閏九月十七日卒
ス歳八十八

大森漸齋

名齋和

名ハ秀祐初、安右五門五川ト号ス
京師ニ住ス石川丈山ニ從フニ書法
ヲ學ブ又儒術ヲウク丈山漸齋ノ
号ヲ命トス曾テ自作ノ挿花筒ヲ
竊元仁皇ニ奉獻ス室永三年三月
三日三平ス歳八十二茶法ヲ思

茶人花抄譜
七十一

茶人権評

田正玄三受儿

大森秋信

自古蔚林位云初

漸齋ノ男名八重建初ノ左右門甘古齋ト号ス又頑公羽ト云宝曆六年十一月二十九日没ス歳八十八

大森有斐

初

秋信ノ男名八重厚清開齋ト号ス天明五年十一月十七日没ス歳六十四

杉木普齋

有斐友臣七

石別兼樂葉初

馬

有斐菴ト号ス勢州山田ニ住ス御師茶法ヲ宗且ニ受ク

山田宗偏

四方菴

宗也

四方菴ト号ス茶法ヲ宗且ニウク京師ニ住ス後江府ニマソフ

黒田正圓

五

茶道ヲ小堀遠州ニウ多動作活様茶事拈槁ノ態ヲ曾テ衆坐ニ在テ曰ク凡技藝ノ病ハ杜ナル時ハスナハチ雅麗老レハ枯淡ナリ易シ諸友トモニ議スワガ茶事花麗ニウグト吾ヒソカニ之ヲヨコフ聞人ニテ服ス

茶人権評

三十一

天和元年五月十二日没又

叙無學

宗衡

名八宗行把不住卜号ス大徳寺
ニ住ス

久須見疎安

烟

洗竹菴鶴巢卜号ス茶法ヲ宗且
ニウク歳九十餘

有馬了休

有馬了休

名存菴臥雲卜号ス法眼位ニ叙ス医
ヲ以テ世ニ鳴ル元禄十五年十二月七
日没又歳六十九

千宗佐

不審福

不審福

飛

飛

不審菴隨流齋卜号ス江岑宗佐
ノ子ナリ茶入系譜ニ出ツ

千宗巴

交流

茶人抄

交流齋ト号ス良休宗佐ノ子ナリ

千宗室

良休宗室

仙叟ト号シ今日菴ト称ス宗且弟三子ナリ茶人系譜ニ出ツ

千宗室

千宗室

仙叟宗室ノ子ナリ初名ハ宗安、子宗室トアラタム前編茶人系譜ニ詳ナリ

久田宗全

久田宗全

俗名久田勳兵衛茶法ヲ隨流齋宗佐ニウク覺々齋宗佐ノ実父ナリ

尾形光琳

尾形光琳

茶人抄

三三

心象

青々堂又長江軒寂明ト号ス天性
画ヲ好ム法ヲ養朴斎常信ニカ
又土佐家及ヒ宗達カ筆意ヲシタ
フ頗ル新意ヲ出ス一照ヲ以テ花葉
鳥虫ノ形ヲ摸ヌ新奇ナラザルハ
レ漆器模金ノ花様亦時流ニラハ
ル遂ニ一家ノ画風ヲナス茶事ニ
通シタクニ假山ヲツクル風流ノ人
物ナリ

千宗安

五の五

六閑齋ト号ス名ハ泰叟前編茶人
系譜ニ出ツ

尾形深省

紫翠

宗謙ノ男光琳ノ兄弟トスルハ誤也
新三良ト称ス居其尚古紫翠玉
堂霽海ホノ号ナリ嘗テ廣沢ニ
從ツテ和哥ヲ一ナグ茶ヲ隨流宗
佐ニウク寛保三年六月三日ニ卒ス

上田康長

三

從五位下主水正淺野長政ニ仕フ
剃髮シテ宗古ト号ス茶事ヲヨ
クス

藤村正員

笑叟

風外菴松杉堂蘭室ト号ス庸
軒第二子ナリ坂城ニ住ス茶法ヲ
父ニウク

千宗佐

美々々々々々

覺々齋芳流ト号ス良林宗佐ノ
義子久田宗全ノ実子ナリヨク祖
風ノ旨ヲ得タリ宗且ヲ摸擬ス性
誇美ヲイトヒ古雅ヲ貴フ新製
ノ器物ミナ古様正雅ノ体ヲナフ
一世ノ名家ナリ今ニ至テ茶道
家ノ標準トナス

土肥二三

ハナニ添ニミ

口西

牧野備後守殿近侍士土肥孫兵衛
豊隆自在軒ト号ス岡崎村ニ住ス
心跡ヲトメス意ニ從フテ来徃ス定
處ナシ茶法ヲ織田家ニナフ常ニ
琵琶ヲ彈シテ樂ミトス京保十七
壬子正月七日卒ス豊隆居士

千宗乾

乾

千字乾

西

字

以

茶人花申譜

龍齋ト号ス泰叟宗安ノ義子原
叟宗左ノ実子ナリ享保十八年
三月二日没ス聚光院牌銘世叟
宗乾居士トイフ

尾形真省



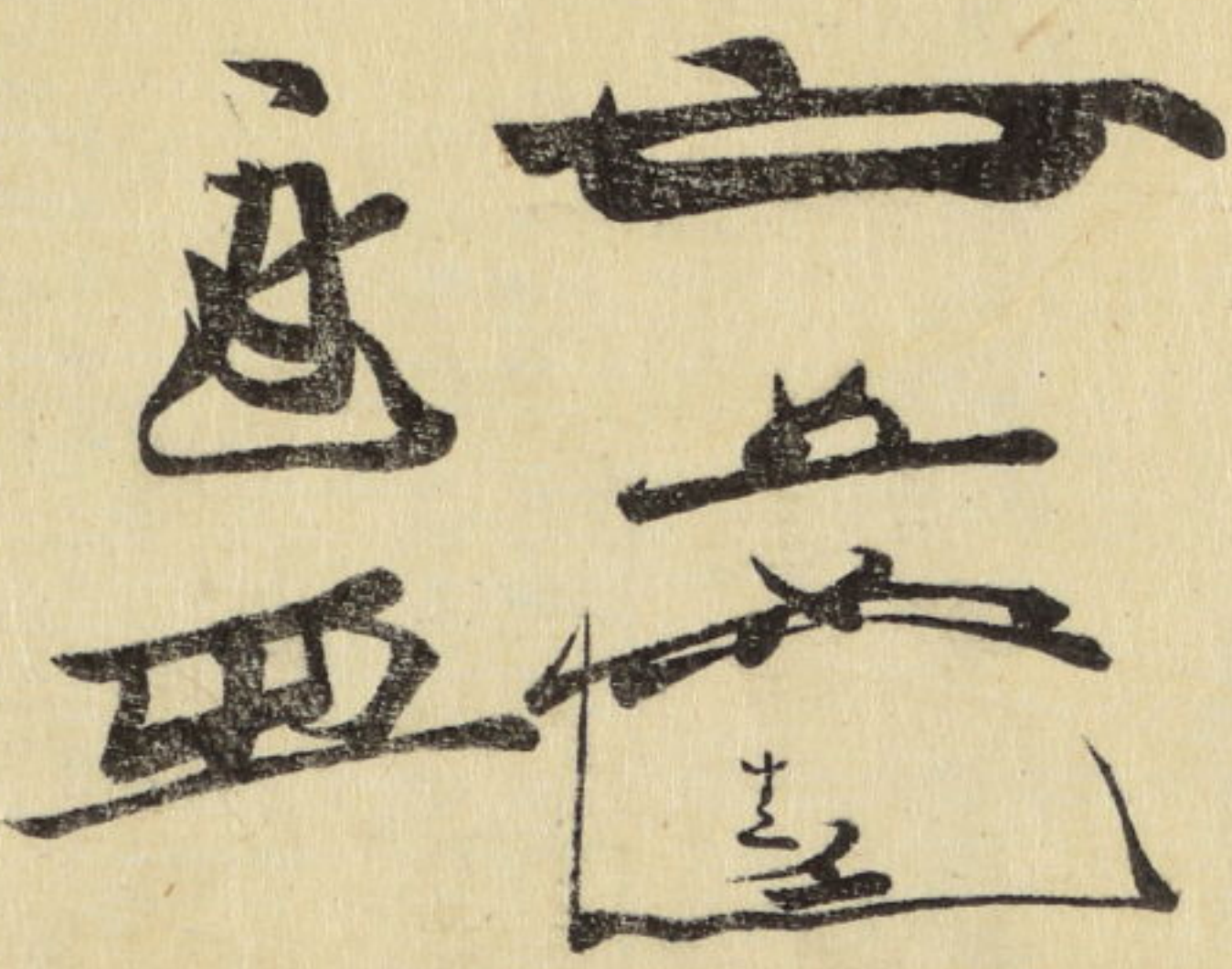
光琳弟ナリ京師ニ住ス後ニ鳴瀧
村ニシテシクク陶器ヲ巧ニス花様ヲ画
テ讚詞ヲ加フ又日本雍州乾山
陶隱省造ノ文字ヲ記ス世ニ乾
山焼ト称ス

山中道億



九齋光漸ト号ス珠光カ遺風ヲシ
タラ能古実ヲキワメ古器ヲ愛ス享
保年中茶ヲ述衛准三后家熙
公ニ献ス尤モ茶道ノ美名アリ時人
閑然スルヲ得ズ

原叟宗法



前編茶人系譜ニ詳ナレバ畧ス

千宗佐

抄本
三十一

宗守

信

如心齋丁々軒ト号ス原叟宗左ノ子ナリ紀州ニ在リ天然ト称ス

千宗室

宗守

勿勿軒又玄斎ト号レ又梅會堂一燈ト称ス宗乾ノ義子実ハ弟ナリ豫州松山ニ仕フ

千宗守

宗守

文叔宗守ノ子ナリ真伯宗守ト号ス讚州ニ仕フ

佐野紹益

宗守

京師ノ人紹由ノ男名八重孝灰屋三良右衛門ト称ス其ヲ藤村宗源ニシテ元禄四年十月十二日ニ没ス歳八十曾テ飛鳥井雅章卿ニ從フテ和哥蹴鞠ヲマナフ共ニ名譽アリ著ストコロノ尔義伴比草ニ卷世ニ行

茶人
三十一

三十一

古筆了雪

了佐義子名公重光
剃髮して了雪上号ス
茶ヲ小蓬菴ニウク延宝三年閏
四月十四日没ス

了

古筆了祐

了榮八男初八兵衛
上云フ名八定香剃髮して了祐
ト号ス茶ヲ金森林宗和ニウク貞
享八年四月二十日ニ没ス歳四十

了

町田秋波

名章初彦根侯任フ後
濃尾ノ間ニテソノ享保八年十二月
六日ニ没ス歳六十三茶ヲ久田宗全
ニウク後原叟宗佐ニ從フテ学フ

了

町田圓齋

秋波ノ嗣子翠陰軒ト号ス
安永四年閏十一月廿四日ニ没ス歳
六十五松尾宗五門人濃州ノ人

了

舟木又甫

了

浪華ノ人貞享中ノ人

市川心齋

了

浪花ノ人貞享中ノ人

隱岐宗沔

了

抄界ノ人駿河屋ト云フサ余ヲ墮流
宗佐ニナラフ

藪内紹智

心守齋

劍溪紹智ノ男不住齋竹心而空ト
号ス延享二年土月廿三日没ス歳
六十八

藪内紹智

心

竹心紹智ノ男宗堅比
老齋竹隱ト号ス燕菴又
雲脚道ト云寛政十二年七月三
日没ス

千宗守

千宗守直齋

一翁ノ男名ハ文叔
ト云フ

千宗守直齋

心

堅叟ト云真伯ノ義子

千宗守

本入花甲音

三九

抄本
三十九

好齋

好齋ト号ス又吸齋ノ
義子讚州ニ仕フ

千宗左

緒
好齋

天然ト号シ如心齋ト称ス又丁々
軒ト云フ

千宗左

好齋

了々齋ト号ス

千宗室

了々齋

常叟ト号シ不休齋ト称ス初名ハ
宗安仙叟ノ男

林義收

林義收

忠左門上云小堀氏稅府吏退隱シテ
氏ノ隈菴ト号ス寛政十二年正月三
日没ス茶ヲ杖信ニシク

青木宗鳳

青木宗鳳

抄本
花甲譜

藤村正齋ノ門人

浪華ノ人薙髪ノ後凡鳥紫雪
菴又水蒲一統子ト号ス明和二年
酉季冬卒ス歳七十六

二世宗鳳

深

凡鳥ノ男初名宗舒新
柳軒温故齋ト号ス寛政五丑ノ秋
没ス歳六十四

堅田祐菴

江州堅田ノ人名
道遠北村佐大夫
ト称ス庸軒ニシタカラテ学ブ曾テ
品水ノ名アリ

竹岩

山本退菴

カ

名ハ宗護屯毫ト号ス庸軒ニ学
ブ

齋藤道節

久松

浪華ノ人晩年江戸ニ住ス義翁或
ハ竹齋有休菴ト号ス茶ヲ庸軒
正負土肥ニ三ホニナフ明和年間
八十余ニテ没ス

山田宗引

カ

初姓ハ福興名ハ俊嘉宗編姓
ナリ故アリテ不審菴ヲツク洲瀬
齋ト号ス留学小笠原佐渡侯ニ
仕テ

觀山

色

大阪ノ人竊々菴ト号
ス漸至菴觀解脫菴
ホノ号アリ能庸軒ノ法ヲ得タリ
藤村正齋ノ門人

八代甲譜

茶人抄
茶人抄
茶人抄
茶人抄

吉見喜齋

乃人乃人

宣

宇治ノ人初メハ
村山善入ト称ス

鈴木宗閑

閑

京師ノ人松屋某

三谷宗鎮

少海

京師ノ人名ハ良朴丹下ト称ス又
南川子不編齋ノ号アリ寛保元
年五月ニ没ス和漢茶誌ヲアラハ
ス

服部道圓

乃人乃人

乃人乃人

京師ノ人自珍齋ト号ス喜奇以
下原叟門人四哲ト称ス

藤村直良

乃人乃人
乃人乃人
乃人乃人

助之丞ト称ス剃髮ト号ス宗淳ト号
ス片桐侯ノ家老木齋齋齋軒菴示
ノ号アリ

清水動閑

乃人乃人

茶人抄
茶人抄

道開ノ男初名道溪傳習菴直玄
ト号ス茶法ヲ父道開ニワク

清水道等

動閑ノ男初名道慶後鈞玄
耕閑子ト号ス鎮信門人

山科宗甫

干火菴徒弟

天満屋常通

京師ノ人五郎左門ト称ス竹心ニ学
ニテ其法ヲ得タリ天明八年六月
三日ニ卒ス清隱齋達源常通堂
ト号ス

天室宗碩

大徳九十五世永祿
二年正月寂ス東光
智燈禪師ト謚ス

春屋宗園

大徳百十一世一黙子ト号シ又自黙
子ト号ス笑山領宗新慶長十六
月九日寂ス

古溪宗陳

道溪
道慶

天室宗碩

春屋宗園

古溪宗陳

古溪宗陳

大德百十七世越前
一人笑嶺新ノ法
嗣慶長三年正月十
七日寂入蒲菴下号
ス



以天宗清



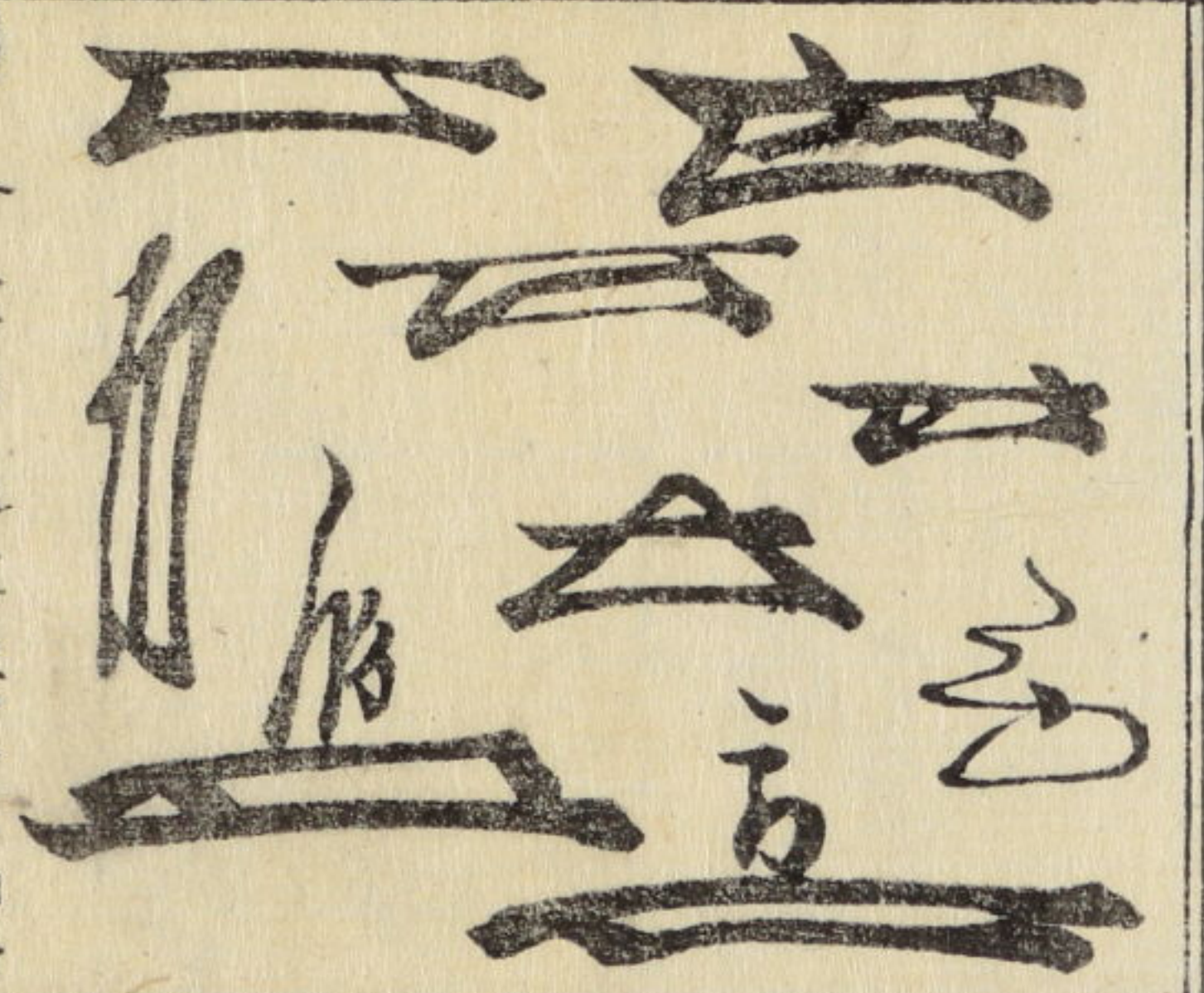
大德廿三世
東海朝法嗣
機雪下号又天文六三年正月十九日
寂入

王室宗珀



同百四十七世春
屋宗園法嗣
テ瞳眠子下号入
京師ノ人寛永
十八年五月十四日寂入

玉舟宗瑤



同百八十二世芽春二世王室宗珀法
嗣春睡又蓋永下号又城洲ノ人
寛文八十月十八日寂入

天室宗笠



茶人花抄
四十五

京師ノ人久田宗也門人元祿年中ノ人

上棟甫齋

宗也

京師ノ人彦兵衛ト称ス遠州ニ從ツテ茶法ヲウク

大口樵翁

白

大阪ノ人初名惣軒又養古齋會翠子ノ号アリ大西開齋從ツテ石州流ノ茶法ヲミナク

大口如翁

如翁

大阪ノ人惣軒ノ嗣名保教也保教芳流菴ト号ス

千宗室

千宗室

一燈宗室ノ男不見齋高雲亭和元年九月廿六日没ス

千宗守 五代

千宗守

吸齋ト号シ直齋ノ義子

茶人花抄 四十六

茶人花甲譜
卷之六
四十一

千宗左

千宗左
字 宗左
号 宗左

怒齋宗佐男哮喘齋呼翁号

住山揚甫

大阪人怒齋内人

堀内仙鶴

堀内仙鶴
字 仙鶴
号 仙鶴

京師ノ人化南齋鶴翁或ハ笛界
号ス曾テ 誹諧ヲ以テ一家ヲナス
又画ヲ善ク寛延元年ニ没ス歳

七十二茶ヲ原叟ニウク

堀内宗心

不寂

仙鶴ノ男不寂齋ト号ス
明和四年ニ没ス歳四十九茶ヲ怒
齋ニウク

松尾宗二

宗二

京師ノ人樂只齋又嘉隱齋ト号
ス寔曆二年九月五日ニ没ス歳七十
六茶法ヲ秋波ニウク後原叟ニ徒
フ

松尾宗五

宗五

宗ニ男樂只軒又翫古齋ト云フ
明和八年十月廿五日没ス茶ヲ父宗
ニウク歳七十一

茶人花甲譜
四十一

松尾宗政
宗政
宗政

宗女男享和二年九月
十三日卒ス歳六十四

多田宗綱

播州姫路ノ人大阪ニ住ス
物々齋ト号ス怒齋宗佐門人
曆八年寅五月九日ニ没ス歳卒九

多田宗榊

宗綱嗣子十友齋ト号ス寛政七年
十一月二十三日没ス

安田是誰

宗政
宗政

京師人治工初對馬ト称ス生平禅
ヲ好ヲ曾テ賣茶翁ニ参ス翁寂
シテ後天童挂州和尚ニ從ヒ窮樂
淡々ト風流ヲ以テ友トシ善ク茶ヲ
本柏宗守ニシテ

賣茶翁

茶翁

姓高名ハ遊外肥前ノ人
初メ黄蘗僧後洛東ニ住ス
茶ヲ烹テ以テ業トス賣茶翁ト称
ス詩ノ偈ヲ善ス

花押難考者出于此

引拙 南都ニ住ス光嗣引拙没シテ後
宗匠トナル

藤田宗理 京師ニ住ス光嗣引拙
没後宗匠トナル

竹倉屋紹滿 沙界ニ住ス一本市

茶人花押譜

藏屋トアリ
男從四位下侍從丹後守
宮津城主剃髮シテ闇知ト
号ス岡崎村ニ住ス久須見疎
安石川自安トモニ岡崎ノ三
老ト称ス

京極高廣朝臣 丹後守高知ノ

志野宗信 京師ニ住ス俗名三郎

僧幸順 洛東頂妙寺中常住院

善法 栗田ノ隱士

三滴 大津ノ隱士

古市播磨 南都興福寺衆徒

石黒道提 洛陽千本ニ住ス

西福院 南都ニ住ス

大富善好 洛陽ニ住ス

菅田屋宗宅 沙界南宗寺德泉

辻玄哉 沙界ニ住ス

棕宗理 沙界ニ住ス

芝山監物 牧村兵部

山本助五郎 沙界住吉屋

山岡宗無 其姓名ヲシテ洛東山科住

ノ貫 清貧ニシテ甚茶事ヲ好

三異物ヲ貯ハ雅趣ヲ得タリ

氣質活潑時ノ人大ニ賞ス

按ルニノ貫ハ其号カ

重宗甫 沙界ニ住ス

慶主座 沙界南宗寺

志野宗温 宗信男名稱三郎祐

憲下号ス又参兩齋

大久保藤十郎 多賀左近

瀬川左馬 黒田正玄 洛陽ニ住シ初メ堀政一

同本宗驗 浪花ニ住ス

横田宗朴 洛陽ニ住ス

中西立佐 同

城宗信 浪花ニ住シ土岐豫州侯

ニ任フ正徳元年七月ニ没ス

慶嚴 本行坊 妙蓮寺中

宗拍伯

茶人花相譜
五十

額ヲウタセラル皇朝茶道宗匠ト
称スルハ光ヨリ始ムツヒテ能阿弥
相阿弥事ヲ巧ニシ紹鴎利林ニ至
リテ茶道全ク大成ス是等ノ先
哲茶道ヲ唱ヘテ一時ノ宗師ニナシ
有ケル尚次テ述ル人ニ古田佐久間
小堀片桐ナンドコトナラズ玩アムヒツ
ヒ三礼ノ中ニトリ入レ又夫ヨリ高
貴モ捨果タハズレテ風流ノ觀ヲツ
クシ下賤モ佗數奇ニ交ラ會ニ侍リ
ケルサレハ茶礼ヲ物セシ人其源ヲ知
ラズニ有ベカラス

畫流相承系譜

○百濟川成

本姓ハ余復百濟ト改武猛ニシ
テ鉄強号ヲ引大同三年左迎衛下
九因画ヲ善ス文徳実録今昔物
語ニ詳ナリ

○紀金若

光孝帝ノ末裔姓ハ紀氏圓深
普天子朝日阿闍梨等号ヲ
承和年
間ノ人

○珍海

醍醐寺ノ僧ニテ禪那
院ニ住ス建仁年中ノ人

○狩野岡

後冷泉帝永正年中
ノ人佛画ノ名手ナリ

○宅磨法眼

名澄賀三尊院足引ノ尊像ヲ
因画又又柵尾ニル所ノ春日像ヲ
ニ神ノ像モ同画ナリ
本朝画史ニ詳ナリ

○鳥羽僧正

名覺猷源隆國ノ子天台座
主法務及ヒ三井長吏大僧正

畫流系譜

タリ画ヲ善シ曾テ醍醐ニ住シ
又鳥羽ニ住ス故ニ鳥羽僧平
号ス仁安
年中ノ人

住吉法眼

其姓名ヲ知ラズ佛像人物花
艸ヲ善ク画シト云

栗田口法眼

名隆光氏哥卿タリ春日繪
所ニテ南都ニ住ス正慶年中
人

然可翁

宗然ト称シ良
全ト号ス

玉峴子

名ハ梵芳普明國師ノ弟子
南禅寺ノ僧ニ知足軒ト云

兆典子

名ハ明兆
山ト号ス

曾我秀文

本明人トリ敏化シテ曾我ト
嗣唐人秀文ト称ス永和年中
人

僧如雪

九州ノ人ニテ相國寺在
テ山水花鳥人物ヲ善画ス

足利義政將軍

慈照院殿東
山殿ト称ス

曾我蛇足

式部入道ト称ス法
名夫泉宗文ト云

休

名宗純

宗丈蛇足男

玄仙 宗丈男

宗響 玄仙男

紹祥 宗響男

直菴 紹祥男

二直菴

巨勢金岡

中納言野足ノ男
仁和ヨリ元慶ノ人

相見

昌泰年間ノ人

弘高

巨勢氏世々名画ノ元稜
具平親王是賞シテ

公忠 巨勢氏天曆年中人

公望 巨勢氏小野宮大臣屏風
小松ノ画ヲカ、ヒム

金高

足利義持公 勝定院顯山ト号ス

永存 河内觀心寺ノ僧慈永中ノ人

之 江藏主ト称ス画史ニ明兆ニ
從テテ画ヲマケトアリ

正信 狩野ノ元祖ナリ大炊助
祐勢永享年中ノ人

僧周文 春育ト称ス相国
寺ニテテ都司ナリ

雪舟 名等揚備漢齋ト称ス
又米元山主ト云云小田備
中赤濱ノ人

秋月 名等觀
高城氏

楊月 和王ト号ス城洲
笠置寺ニ住ス

楊門 雪舟ノ弟ト
雪舟ノ門人

周耕 和州多武峯ニ住
ス雪舟ノ門人

雪村 雪舟ヲ師トス名周繼
仙公羽ト云元龜天正ノ間

雪林

弓削等 薩波月ト号ス天
正年中ノ人

等碩 牧雲子ト号ス
秋月ノ男

雲谷等 瀨 雪舟ヨリ三世ノ画
ナリ其傳諸書
一出タルハ男

等益 雪舟四世ノ画孫

等與 法橋雲谷ト称ス

等爾

等藩

宗淵 藏主 字如水水子ト
号ス相効ノ人

照陽 姓祥カテス
朱王ト称ス

等歳 九加ノ人高野山ノ
僧雪舟ヲ師トス

周德 惟馨ト号ス防
劔雲谷菴ニ住ス

雪窓

山田道安 和後山田地土
筒井ノ門ト云

雪工

雲溪 支山ト号ス天
文中ノ人

等梅 雪舟ヲ師トス九及
人高野山ニ住ス

東陽 雪舟ヲ学ブ

小栗宗丹 周文ノ高弟ニテ一家
ヲナス後相国寺ニ入テ
僧トナル自
牧ト号ス

等楊 拙宗ト号ス

康西堂 鎌倉建長寺ノ僧

雲甫 周文ノ流
周苦ト号ス

洞玄 土岐ノ族ト云
周文流カ

真能 鷗斎又春鷗斎ト号シ
能阿弥ト云フ

墨隱

遮莫

周位

真菰 其云阿弥ト称シ文學叟ト云

真相 鑑岳又松雪斎ト号ス
真菰ノ男

啓書記 名祥啓雲漢ト号ス又
負樂軒休月斎ト云

可卜 棟隠子ト号ス
建長寺ノ僧

惟安

宗粟 宗丹ノ子周
文ヲ学フ

江西和尚 名竜流
孫公羽ト号ス

九洲和尚 曾燦葵ノ前号ス

宗休

相保

松花堂 昭乘惺々翁

光悦 本阿弥徳又斎

宗達 伊年ト号ス法橋
京師ノ人

光琳 寂明青々堂長
江軒京師ノ人

立甫

長谷川等伯 慶長年間法
及七尾ノ人

信春 等伯ニテ

宗也 等伯ノ庶子

等的 等伯ノ門人

宗宅

等悅

等林

小野氏後長谷川ヲ唱フ

等作 法稿

出中 等春ト号ス

等雪

雪舟ノ風アリ豪氣ノ作アレイサカ谷ニ近シ

雪汀

洞雪

○君中

○曾我肅白 曾我氏

○寂照月仙

○祇南海

○英一蝶 本姓賀名春香

○熊斐

○大鵬和尚

○宮筠甫 宮崎氏

○柳公美 里菜柳沢氏

若芝

霍亭和尚 字海光

若元

○望玉蟾 名女コト安人延享中ニ没ス

○彭百川 彭城氏蓬洲又八仙ト号ス

○薰葭堂

○大雅堂 名無名九霞山樵

玉瀾 無名妻

五嶽

噲々

春塘

○謝蕪村 名長庚夜半亭

吳月溪

○圓山應舉 一芦雪

○土佐經隆 藤原氏從五位下土佐守繪所預

行光 越前守
文延年中人

光重 越前守
永享中入

廣周 永享中入
彈正忠

光信 刑部大輔
永享年中人

光茂 刑部大輔
享祿年中人

女子 元信妻

光持 至德年中人

光高 古右京光信妻

隆信 左京權大夫越前守正四位下
元曆年中人土佐家、鼻祖也

信實 右京大夫隆信男後鳥羽順
德西朝之末言ヲ一時ニテ父

隆能 姊小路正五位下主殿頭藤原
清隆之密子治年中人

隆親 正五位下備前守
隆能弟

行智 隆親ノ弟画師ナリ

行廣 土佐守

行秀 修理亮繪所預

寂齋 兵部少補繪所預

光國 備後守繪

長隆 後宇多帝建治ノ人
家隆郷ノ甥ナリ

長章 越前守

相保 光信ノ系國ニアリ海田
采女ト云文正年中人

光益 光信カ妾ナリ

經光 光信カ妾ナリ飯三將監ト
ナリ剃髮ニテ後ニ經光ヲ

土佐刑部 諱ヲシテ
トス

光起 印文ニ將監ト
アリ未考

此餘

光純 光忠 久欲

益繼 光繼

右土佐家ハ彫刻ノ画家印譜系
國ヲ披合シテ猶ソノ載サルヲ補
正シ出ス然レトモ遺脱ナホ多カ

ラシ他日考正スベシ

狩野氏系圖

正信 法眼祐男
又伯信

壽九十七
其先遠州人

女後藤光興妻

之信 綱隱子

國松 早世

元信 法眼永仙 全盛年
世古法眼ト稱ス永祿中久

祐雪 宗信法眼
三十二歳卒

季頼 治部少輔
又信正

松榮 家兄祐雪
卒後家督

真笑 乘信又信正
法眼真乘

了不 治部

了琢 季政
一説了不ノ子ト云

外記 季信
抑雪

數馬 征信

主水 為信梅雪

了乘 秀信又秀之

元俊

伊織

春雪 信之

春笑 信求馬

梅榮 知信

梅春 旭信

梅笑 師信

春水 命信

春笑 宣信

松榮 直信法眼

永德 元信三男天正年中卒年今

宗秀 季信法眼

真說 元季法橋

宗巴

休白 長信法眼

休白 昌信

休圓 清信

休山 足信

松林 淳信

休山 德信

休碩

休琢

至燕 季信

至榮 在信

宗知

文益 氏信

伯圓 景信

即譽 種信

舟仙 令信

探茶

素仙 成信

伯清因信

右近孝信

源七郎吉信

探幽 米文守信法印延享三年十月七日没年七十二

尚信 主馬始二信 四十七卒

安信 伯父光信 卒後家督

常信 古川法印養朴正德中卒 年七十八

如川 周信法眼

隨川 岑信 本姓本

隨川 甫信 始即信

常川 幸信

榮川 古信

受川 玄信早世

榮川 典信 法眼

養川 准信

洞雲 益信法眼 本姓後藤

五郎左衛門

探信 守政法眼 忠淵

探雪 守定

雪信 清原氏女 中信猶子

探牛 守睦

探潤 政信

探船 童信 守富實探船弟

探林 守美

洞春 福信又兼信 又義信良信

玄仙 方信早世

雲仙

古右京 光信繪所慶長辛中卒 年四十二

永真 安信法眼 孝信三男

内藏助 親信早世

右京 時信

書目
九

永叔 主信法眼
始敏信又明信

永真 惠信
又季信

祐清 英信
法印

永羽 表信

永德 高信

狩野免許門人

古法眼門人

王樂

金玉仙 官南

壽卜

養拙 又養雪

得菴

木村永光

山樂 光賴寬永中卒
年七十七

松榮門人

重信 一翁

溪 重良

主膳良信

安仙 春信

友甫 晏信

永德門人

友松 文雷

宗泉

養清

宗仙 政信

隆仙 承

内面 種信

左近 種次

大學 氏信

梅雲 為信

柳雪 秀信

柳伯

書目

書林系譜
一將以行
七

梅軒 富信

光信門人

奧意 代々將野

奧甫 弥右工門

松伯

乘昌 沼津

奧也 伯甫

道味 與助

△祖酋 松原養子

素川 信政

洞元 邦信

壽石 泉信

伯壽 武信

洞林 波信

洞樹 克信

探幽門人

桃田柳菘 守光

神足善若工門

幽讚

霍澤探山

久隅半兵衛

加藤遠澤 守行

松原探梁

安信門人

宗仙 政信

永淳 石田

昌運 岩本

永雲 太田

常真 日比

隆仙 奈頂

永納 縫殿助

高虎系譜

上

七左工門 夕才

泉碩 奈須

永翁 口

永相 高木

永休 武田

永寂門人

常慶 日比

永壽 三谷

永三 津田

與碩

永恕 藤田

永伯 三谷

永了 多羅尾

常真 日比

休真 羽賀

泉碩 奈須

永碩

林叔 井尻

涼珉 池田

友元 日賀田

洞益 飯田

春笑門人

春湖 元珍

春賀 埋信

▲多賀朝湖 別成家

一舟

書林
詩
三

池内氏

藏板

賣弘所

書肆

城州伏水

龜本屋半矢衛

